

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

|             |   |
|-------------|---|
| 1 審議会名      | 上田西部地域協議会   |
| 2 日時        | 令和2年11月10日 午後7時00分から8時15分まで                                   |
| 3 会場        | 西部公民館 第5学習室   |
| 4 出席者       | 小川委員、佐藤悦子委員、佐藤祥一委員、菅沼委員、滝沢敏比古委員、竹内委員、立木委員、茅野委員、塚本委員、町田委員、向山委員 |
| 5 市側出席者     | 【事務局】小山西部地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、片山地域内分権推進担当主査                  |
| 6 公開・非公開    | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開   |
| 7 傍聴者       | 0人 記者 0人  |
| 8 会議概要作成年月日 | 令和2年11月17日  |

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項

(1) アンケート結果について  
会長より資料を基に説明

(2) 今後の地域協議会の進め方(調査研究活動)について  
○資源循環型施設の話題を軸とした調査研究活動

(会長) アンケートの結果、賛成の方と反対の方、両方の意見がでている状況。現状として諏訪部自治会は反対の要望書を市長に提出しており、デリケートな話題である。これまでの経過、現状、計画が出来た場合にはどんな方向に進んでいくかを具体的に勉強しながら、提言出来ることを探っていけたらいいのではないかと。正副会長と事務局とで打ち合わせをした際、資源循環型施設の話だけでなく、生ごみなども含めたごみ全般に係るテーマの方が提言しやすいのではという話にもなった。事務局と相談して勉強会を開催したい。

○令和元年東日本台風(台風19号)の話題を軸とした調査研究活動

(会長) 資料中の「被災状況及び災害対応アンケート」を記入することで、皆さんが当日の行動について振り返りをする中で、西部地域としての課題を見つけられるのではないかと。記入提出後、事務局にて内容をまとめたうえで当協議会を開催し、話を進める段取りでいかがかと。

(事務局) 提出について、この用紙に記入してもらいたい。記入スペースが狭いこともあり、可能な方はデータで回答いただきたい。

(会長) 提出期限は11月24日(火)としたい。

(会長) アンケート中にある、その時「私は・・・」の部分になるが、皆さんは当時どのようにその日を過ごしたか順に話をしてほしい。

私は子どもを保育園に迎えに行き、その後消防団として活動し、夜中2〜3時頃に指定避難所の西部公民館で家族と合流した。

(委員)秋和はそれまでは普通で何もなかったが、21時頃停電になった。その時点で寝てしまったが、翌日の日中には復旧した。裏の家は停電もしていなかったようだ。

(委員)土砂災害を心配したが大丈夫そうだったので、要配慮者のご高齢のお宅への連絡と、台風が通り過ぎた後の見回りをした。

(委員)同じく秋和なので、21時頃停電したが、雨戸等閉めていたため外の様子はわからなかった。翌朝耕作者組合で使用しているビニールハウスを見に行ったところ、ビニールが飛んでハウスが倒れていたため、応急処理を行った。

(委員)下塩尻に住んでいるが、風が非常に強くて瓦が飛んだのと、ソーラーパネルが庭に落ちていた。88歳の親族が居り、風が強くて怖かったため避難はしなかった。

(委員)当日は朝7時頃から消防団にお願いしてポンプ車を出してもらい、側溝に詰まった草を水で押し流してもらい、第一次避難場所開設準備に追われていた。翌日は農業用倉庫の解体、シートの撤収等に追われた。反省点としては防災連絡網があまり役に立たず、的を絞って要避難者に連絡すべきだった。一人暮らしの方への声掛けを消防団でやってもらったがうまくいかなかった。

(委員)市から連絡のあった指定避難所情報を自治会館に貼った。消防団に依頼して車での注意呼びかけをもらった。翌朝は車で巡回して被害状況を確認したが、神社の枝が折れた位で大きな被害は無かった。

(委員)第一次避難場所開設準備・待機、危険箇所の見回りをした。会長・会計が座布団80枚を西部公民館に運ぶ等準備をしていた。

(委員)台風前日にカセットコンロを購入しに行った。土砂災害の地域であるため心配だった。風より雨が強かった印象で、子どもがいるため避難場所ではなく、自宅2階に逃げることを考えていた。しなの鉄道が不通になり、予備校(勤務先)に佐久方面から生徒が来られなくなるなどについて電話で会議を行った。

(委員)自宅が千曲川沿いのため、いつ越水するか恐怖だった。2階に貴重品を持ち上げた。犬がいるため車での避難を考え、警戒レベルが上がった時点でイオンに行ったが入れず、市民体育館も入れず、西部公民館に避難した。また、避難場所に行きたくないという家族には困った。

(委員)尋常でない雨が怖かった。ハザードマップを確認して、改めて大切さに気がついた。近所の一人暮らしの高齢のお宅の様子を見に行った。一番大変な時、人は冷静になれないと思ったので、日頃からの心掛けが大切だと思った。

(会長) 皆さんありがとうございます。やはりアンケートを記入いただく際、自治会も書いていただいた方がよい。住んでいる場所によって、体験している状況が異なっていることが分かった。

(会長) 西部地域まちづくりの会でも防災の部会があり、防災マニュアル作成や備品確認をする話をしているので、情報提供ができればいい。

(3) その他  
事務連絡

4 閉会